

ゴ ミ ゼロ 5 3 0 レポート

第42号 2006年3月31日 発行

編集と発行 530運動環境協議会

〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕

〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp>〕

〔E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



530運動実践活動

昭和50年に豊橋で生まれた530運動。その活動の根源は、ごみを拾うことで捨てない心を育むことでした。現在もその地道な活動は豊橋市内の各所で行われています。

今年は5月30日(530の日)と9月25日(万博の開幕の日)を中心とした春と秋の530運動実践活動および5月、9月、11月、3月の駅前クリーンアップを行いました。この1年間で事務局が配布したごみ袋は約76,000枚にも上りました。これは市内で活発に美化活動が行われていると同時に、まだ多くのポイ捨てがあるということを表しています。

しかし、根底には単にごみを捨てるというモラルの問題だけではなく、ごみが多く出る生活スタイルにも一因があるのではないのでしょうか。そんなスタイルを変え、ごみの少ない社会にしてゆくことこそ本当に必要なのではないのでしょうか。

近年530運動では環境教育、ごみを減らすためのキャンペーンといった新たな取組みを始めました。これからもみなさんとともにゴミゼロ(530)社会を目指して活動してゆきます。

530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、循環型社会の推進、環境教育など、今後も様々な取組みを行い、ごみがゼロになる社会を目指します。

本協議会では活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも年間費で1口以上です。申し込みは協議会事務局窓口のほか、ホームページからでもできます。会費の納入につきましては申し込み受け付けをした後、事務局より通知させていただきます。

入会していただきますと530運動実践活動や駅前清掃、イベントのご案内のほか530レポート(年2回発行)を送付させていただきます。



目次

野鳥観察と530運動.....	2
牟呂用水美化活動.....	2
省エネルギー月間・街頭啓発.....	2
NO!包装キャンペーン.....	3
会員紹介コーナー.....	4
編集後記.....	4



野鳥観察と530運動

中部セキスイ工業(株) 早川 佳澄社長)は、ISO14001認証の取得にともなう企業活動の一つとして、また地域貢献と自然保護活動として平成18年2月25日(土)に明海町(大崎5区)の三河湾の沿岸で大崎小学校校区子ども会33名とともに野鳥を観察する会と海岸清掃活動を行いました。



当日は、汐川干潟を守る会の藤岡エリ子さんから自然保護活動について講義を受けた後、マガモやオナガガモが羽根を休めている姿を観察しました。

また、海岸に打ち上げられたビン、缶、ペットボトルやプラスチックごみを回収し30分あまりで約100kg程集まりました。P.S.海岸に“大根”が育っていました。海水に浸った砂地のごみの間に力強く育っていました。



牟呂用水美化活動



牟呂用水(牟呂松原用水牟呂幹線水路)は新城市から豊橋の市街地を通り本市牟呂町までを流れる水路です。明治21年(1888年)に完成し100年以上も豊橋の市民に親しまれています。しかし水路へのごみのポイ捨ては多く、毎年多くの団体が清掃を行っています。

昨年の7月から12月の間に、牟呂用水近隣の12の小中学校と校区が合わせて2,500人で清掃を行いました。



省エネルギー月間・街頭啓発

2月は一年を通して特に寒さが厳しく、暖房や石油ヒーターなどの使用の増加から電気、ガス、灯油などの消費が増え、二酸化炭素が多く発生します。二酸化炭素の排出は地球温暖化につながることから、日本では毎年2月を省エネルギー月間に定め省エネを促進しています。

2月9日早朝、豊橋駅ペディストリアンデッキにて530運動環境協議会会員他約20名で省エネルギー月間・街頭啓発を行いました。今年のテーマの「この冬スマートに、もう一枚」にあわせ、フリースのひざ掛けを約1,000枚配布しました。これは、ひざ掛けで少しでも暖房の温度を控え、省エネを実践していただくためです。



冬期に暖房の温度を1度下げると約25kgのCO₂の削減になり、日本の全家庭が行うと京都議定書の中で目標とした削減値の約1.7%にあたるCO₂の削減になります。この朝、多くの方に呼び掛けました。ぜひみなさんも省エネに取り組んでみてください。環境省「家庭でできる地球温暖化対策」より算出。



NO！包装キャンペーン

530運動では2月を「NO！包装キャンペーン」月間として、市民に買物時における過剰包装やレジ袋の削減を呼び掛けました。

私達の周りには詰替え用の製品も増え、店頭で「レジ袋は必要ですか」と尋ねられることも多くなってきました。豊橋市内でも多くのお店がこういった取組みを行うようになってきていますが、過剰包装の削減には事業者の協力だけでなく、消費者の理解も必要になります。

今回のキャンペーンでは、ごみ減量のアイデアを募集する「ごみにしない工夫アイデアコンクール」と、各家庭で省エネにとりくんでいただく「CO₂を減らそう！省エネ実施キャンペーン」を行いました。

アイデア募集には容器包装の削減のアイデア76点を含んだ234点のアイデアをいただきました。省エネ実施では60%の家庭が簡易包装の物を選び、マイバッグを持参していると答えました。

アイデア募集部門では各賞を決定し、優秀賞には省エネ大賞受賞の省エネ電気ポットをはじめ応募者全員にレジ袋不要のトートバッグをお贈りしました。省エネ実施部門では応募者に省エネエコタップをお贈りしました。各賞入賞者・作品、集計結果は下記のとおりです。



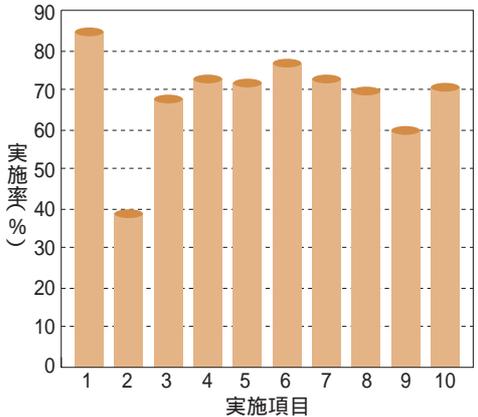
アイデア部門（応募234点）

優秀賞	駒 勇希さん	ボサボサになった歯ブラシを熱湯に入れ再び使えるようにする。
"	赤石裕佳里さん	各町内に供用の生ごみ処理機を設置し、処理物を定期的に回収し、豊橋で農作物を育てるのに使う。
入 選	鈴木 貴大さん	ペットボトルに水を入れて、トレーニングに使うダンベルを作る。
"	村松 隆世さん	新聞紙を水にぬらし窓ふきに使い、乾かしてリサイクルに出す。
"	河口真季絵さん	はかなくなった靴下の中に半分に切ったラップの芯と乾燥剤を入れ、口を縛り、消臭シューズケア用品を作る。
"	三好 優平さん	だしをとった後のかつおぶしや昆布をつくだ煮にしている。
"	松尾 則仁さん	大根やにんじんの皮を細かく切って、煮物にする。
佳 作	松井佳奈子さん	コーヒーのかすを乾かし、プリンやゼリーの容器に入れて冷蔵庫の臭い消しにする。
"	佐藤 範子さん	カレンダーを決めた大きさに切りそろえ、そろえた面に木工用ボンドをつけ、ティッシュを貼り、固め、メモ帳を作る。
"	鈴木 寛之さん	こわれたカサの布地は、自転車の前かごの雨よけ、サドルカバー、ショッピングバッグにリサイクルする。
"	高田 祐子さん	不要な衣類、布団の綿を使って、保温が出来る鍋帽子を作り、料理に使うと省エネも実践できる。
"	丸地 彩加さん	コンビニでお弁当の金額を上乗せして売り、プラスチック製の弁当箱を洗ってかえすとその分のお金がもらえるようにする。
"	玉谷まち子さん	生ごみ処理機による処理物を決められた場所で回収し、市の緑地栽培や必要な家庭で使えるようにする。
"	田中 啓子さん	ティッシュペーパーを使わずにハンカチくらいの大きさのタオルに鼻をかみ毎日洗濯機で洗って繰り返し使う。
"	今泉 春香さん	カレンダーの上の芯の部分を外し半分におり、詰め替え用シャンプーなどの袋をしごくのに使う。
"	長坂奈保美さん	スーパーのレジ袋を全国一律にし、不要になったレジ袋をスーパーで回収し、再利用する。
"	関山ゆみ子さん	少しずつ残った野菜はコンソメ煮込みスープかお好み焼きにする。

省エネ実施部門（応募102家庭）

家庭でできる省エネ10の提案	実施率
1.冷房の温度を1 高く、暖房の温度を1 低く設定すると(31kg/2,000円)	85%
2.通勤などで週2日往復8kmの車の運転をやめると(185kg/8,000円)	39%
3.駐車時に1日5分間のアイドリングストップを行うと(39kg/2,000円)	68%
4.家電製品を使わない時にコンセントを抜くと(87kg/6,000円)	73%
5.シャワーを1人1日1分減らすと(65kg/4,000円)	72%
6.風呂の残り湯を洗濯に使いまわすと(17kg/5,000円)	77%
7.ジャーやポットの保温を止めると(31kg/2,000円)	73%
8.家族団らんし、暖房と照明の利用を20%削減すると(240kg/11,000円)	70%
9.買い物袋を持ち歩き、省包装のものを選ぶと(58kg)	60%
10.テレビ番組を選び、1日1時間テレビの利用を減らすと(13kg/1,000円)	71%

CO₂を減らそう！省エネ実施キャンペーン結果グラフ



(3人家族が一年間実施した場合のCO₂削減量/節約額:環境省より)
 実施率 = 実施家族数 ÷ 参加家庭数 × 100

会員紹介コーナー

今回は朝倉川の清掃に取り組む2つの団体を紹介します。

朝倉川育水フォーラム

「朝倉川530大会」

朝倉川育水フォーラムは「ほたるのとびかう人里づくり」をテーマに平成7年に設立されました。その後平成11年にはNPOとして愛知県下で第1号の認証を受け、活動を続けています。

活動の中で最も大きなものは、毎年春に行っている530大会です。

多米峠にある朝倉川源流付近から豊川に注ぐ、朝倉川全川8kmを一斉に清掃します。平成9年に始まり、今年で10回目になります。国や県、市役所など行政関係の方。川周辺の町内会のみなさん、企業や団体のみなさん。小学生、中学生、高校生のみなさんなど毎回2,500人も幅広い参加があります。10年間毎年参加していただいている団体もたくさんあります。

また、始めた当初は50tもあったごみも昨年は11tでした。少しずつですがごみの量も減りつつあり、活動の成果だと思われまます。

朝倉川育水フォーラムでは530の活動以外に、秋には多米橋から寺門橋までの植樹エリアの木を剪定したり枝払いをするメンテナンス大会、小中学校の総合学習のお手伝い、自然観察会、水質調査、ビオトープ作りなど多彩な活動をしています。(ボランティアしていただける方を常時募集しています)

今年の530大会は4月15日(土)10時からです。ぜひ、ご参加ください。

連絡先：朝倉川530大会実行委員会・事務局 ☎53-7211



学校法人桜丘学園 (桜丘中学校、桜丘高等学校)

「朝倉川に蛍舞う日をめざして」

「学校のそばを流れる朝倉川に蛍を呼び戻そう！」そんな合言葉の下、桜丘中学校では再開(平成5年)と同時に総合学習の一環として朝倉川の清掃活動に取り組んできました。9年前から始まった朝倉川育水フォーラム主催の「朝倉川530大会」に第1回目から参加し、毎年中学生全員(約270名)が清掃活動に汗を流しています。今年度からは高校1年生(約550名)も参加し、全学園挙げて環境問題に取り組む体制となりました。

年1回の清掃活動だけでなく、総合学習の中で、多米にある「ビオトープ」の整備、朝倉川の水質検査、蛍の幼虫放流など育水フォーラムの方々共に蛍の乱舞する日をめざして活動しています。生徒たちは530運動に参加する中で、何気なく捨ててしまうごみがいかに環境に悪影響を及ぼすかを実感し、日常生活を振り返ってくれます。

また、桜丘学園創立80周年を記念して市民と共に作ったミュージカル「ほたる舞え、川の流れに」では豊橋の530運動を取り上げ、野良猫の目を通した環境問題へのメッセージを発信、多くの市民の共感を生みました。

桜丘学園では今後も「まちとともに未来へ」を合言葉に環境問題への取り組みを強めていこうと考えています。



編集後記

私の住んでいる近所に大きな公園があります。この公園はいつもきれいで、多くの子供やご老人、家族連れが訪れます。先日、早朝にごみを拾っている方を見かけました。例えば朝か晩に毎日ごみを拾っているとのことでした。わたしはそこに、30年続いてきた530運動が確実に、豊橋で暮らす人達の心の中に息衝いていることを感じました。

530のまち豊橋は今年、市制100周年を迎えます。多くの人によって受け継がれてきた豊橋の文化やまちは、これからも私達の手で引き継いで行かなければいけません。そんな豊橋に誰もが出来ること、それは530運動ではないでしょうか。